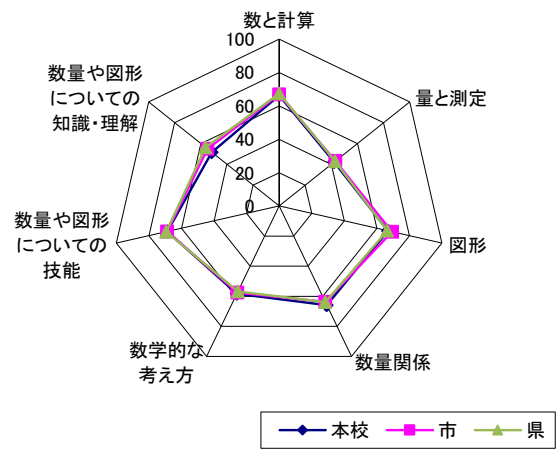


宇都宮市立桜小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	66.3	66.9	67.4
	量と測定	42.3	43.2	43.0
	図形	66.9	69.4	66.5
	数量関係	65.9	63.7	63.9
観点	数学的な考え方	58.4	57.5	56.8
	数量や図形についての技能	68.7	68.8	69.3
	数量や図形についての知識・理解	51.6	54.9	56.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○3位数×2位数の計算がよくできている。 ●数直線上の値を分数で表すことが、県・市よりも下回っている。	・計算については、ドリルや家庭学習に継続的に取り組ませ習熟を図る。 ・数直線を分数で表し、数量としてとらえられるよう指導していく。
量と測定	○単位を基に面積を求める問題は市を上回っている。 ●角度を求め方を説明する問題は、県・市を大きく下回っている。	・習熟度に差が見られるため、個別指導に加え習熟度別学習を取り入れていく。
図形	○平面上にあるものの位置を表す問題は県を上回っている。 ●平行四辺形の作図に関しては、県・市を下回っている。	・作図については、コンパスや定規の使い方を丁寧に指導し、反復練習を重ねていく。
数量関係	○ブロックの並べ方と個数の関係を式に表す問題は、県・市を上回っている。 ○活用問題は県・市を上回っている。 ●二次元表のあてはまる欄にあてはまる数を求める問題が県・市を上回っている。	・表に表されたデータから数量の関係を見つけ出すことができる練習を重ねていく。